

2015年10月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

10 2015
October
No.265

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 林 克郎 ○編集 | 渡邊 観世子

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[27.9.1現在]

4,693名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶会長就任あいさつ訪問報告 P4▶2015年度(公社)神奈川県理学療法士会組織図
 P6▶新人教育プログラム P7▶活動報告 P8▶会員ライフサポート部活動報告53報 P9▶公益事業推進部からの報告
 P10▶2015年度補正予算報告/会長行動報告 P11▶学会情報 P13▶研修会・講習会
 P15▶理事会報告 P18▶information P19▶スポーツ現場の独り言 P20▶編集後記/原稿送付先

巻頭言



第8代会長就任あいさつ

会長 林克郎

平成27年6月14日、第36回定時総会にて役員改選が実施され、直後の理事会にて会長に任命された林でございます。新体制のスタートにあたりご挨拶申し上げます。

今回の理事選出は、本会が発足して以来45年間で初めての選挙による選出となりました。新体制の理事一人ひとりが選挙行動による会員の評価を受けたこととなります。このことは、理事としての責任と期待を数字で示されたものであり、選出された理事一人ひとりが会員の気持ちに背を向けることなく、今まで以上に会員を意識した行動が求められているものと考えています。

さて、括弧内の文書が私の理事立候補の主旨です。以前読まれた方には申し訳ありませんが再掲させていただきます。

「事務局担当副会長として本法人の健全な事業運営に努めてまいりました。県への法人申請作業を通じ、会員並びに県民に役立つ公益法人としてさらに成長していく必要性を痛切に感じております。それは、現在行われている公益事業を含む本会の事業が会員並びに県民にとってどのようなメリットを生み出しているのか。それらは体系化され、会員の理解が得られるように整理されているのか。等々、いくつかの疑問を抱えながらの県との調整作業でした。これらの疑問を少しでもクリアにすることが、次の任期の役割と考え立候補いたしました。また、来年(2016年)の第35回関東甲信越ブロック学会は、神奈川県士会の担当であり、その学会長を拝命いたしました。本学会開催は神奈川県士会の重点事業として位置づ

けられており、多数の会員のご協力を仰ぎながら準備を進めているところです。本学会を成功させることも重要な責務であり、立候補の理由の一つになります。」

ここに書かせていただいた内容を具現化するように、社会局、職能局、学術局、事務局、第35回関東甲信越ブロック学会準備委員会、すべての部署で事業の準備、再検討が始まっています。この文章を書くしばらく前に、神奈川県代表の東海大学付属相模高校の優勝で夏の高校野球が幕を閉じました。例年以上に朝から行列ができるほどの賑わいだったようです。県士会の事業も約4,500人の会員が、そして一般市民の方が行列を作るような魅力を醸し出すにはどうすれば良いでしょうか。神奈川県理学療法士会は「One for all」しかありません。「All for one」はありません。会員と県民の皆様のための県士会です。「One for all」を実現するには、皆さんの声が届かない限り役員ご自身の自己満足になってしまいます。是非とも近くの県士会役員、部員、委員に皆様のご意見をお伝えください。後に新組織の役員、部長、委員長、係長を書かせていただきます。本会ホームページからでも構いません。新役員一同からのお願いです。

最後に、改選から2か月余りが過ぎましたが、会員の皆さん、賛助会員の皆さん、関係諸団体の皆様のご支援と、先人たちによって築かれた土台により大過なくスムーズに新体制がスタートしていることをご報告し、関係各位に心よりお礼申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

以上

会長就任あいさつ訪問報告

会長 林 克郎

黒岩神奈川県知事

去る平成25年7月9日に県庁本館3階にあります知事室へ、本会の隆島副会長とご挨拶に行っていました。保健福祉局保健医療部医療課の中澤課長同席のもと11:00から約10分間でしたが、資料を基に本会会員の動向についてご説明しました。黒岩知事とは、PT数の地域格差、訪問リハビリ、がんリハビリ、ロボット特区についての現状と課題についての簡単な意見交換となりました。

古谷神奈川県医師会会長

同7月9日、13:50より神奈川県総合医療会館3階にあります（公社）神奈川県医師会会長室にて、本会の相川理事（事務局長）とご挨拶に行っていました。まず本会の会員の動向についてご説明し、地域包括ケアシステム構築に向けた医師会との関わりについてお話ししました。古谷医師会長からは各都市医師会が実務を担っている現状を踏まえ、本会の下部組織についての確認がありました。現状、本会には都市医師会単位に対応した組織がないことをお伝えしました。最後に、古谷会長の専門が整形外科であり、ラグビーの話題で和やかに会談を終えました。

首藤神奈川県

ヘルスケア・ニューフロンティア推進局担当理事

日を改め7月14日に県庁本庁舎2階にあるヘルスケア・ニューフロンティア推進局へ、炭副会長と共にご挨拶に行っていました。佐久間局長、本間総括主幹、同席の下15:30から約1時間にわたり意見交換を行いました。ヘルスケア・ニューフロンティア推進局は黒岩知事直属の部署であり、未病対策、再生医療などの最先端医療、ロボットなどの最新技術により超高齢化社会に向けた対策プロジェクトの部署になります。首藤理事からは、「生命科学」と「生活科学」という言葉について意見を求められました。身体機能や高次脳機能に基づいた生活への適切な介入を行えるのが理学療法士であり、生活への科学的介入が可能な専門家であることをお話ししました。さらに、この専門性を地域包括ケアシステムの中で活かしていくために、本会では積極的に研修会を開催していることもお伝えしました。しかし、理学療法士のほとんどが病院やクリニックに勤務していることから、地域包括ケアに関心を持っていても所属施設から出ていくことが困難な場合が多いこともお伝えしました。また、ロボット特区で実践されているリハビリテーション現場でのロボットの活用についても話題となりました。別に現在の地域での課題の一つとして、障がいを持った方たちが利用されている補装具が破損した際、修理されずにそのままの状態となり歩行出来ていた人が歩行困難となるケースを例に出し、補装具の修理について意見交換しました。

以上



平成27年度の各表彰

神奈川県士会会員の永年にわたる功績を称え、各表彰につきましてご紹介します。

1. 厚生労働大臣表彰

神内 擴行氏
 (特別養護老人ホーム レストフルヴィレッジ)
 井上 保氏 (神奈川県立総合療育相談センター)
 秋田 裕氏 (前神奈川県理学療法士会会長)
 長澤 弘氏 (神奈川県立保健福祉大学)
 隆島 研吾氏 (神奈川県立保健福祉大学)

2. 日本理学療法士協会協会長賞

大槻かおる氏 (花音訪問看護ステーション)
 萩原 利昌氏 (川崎市医師会)

厚生労働大臣表彰



左より隆島氏、秋田氏、井上氏、半田協会長、神内氏、長澤氏



Daiwa House.
大和ハウスクレブ

www.daiwahouse.co.jp/robot/

☎ 0120-934-576

ロボットスーツ HAL®福祉用は、
 全国で約 250 台が稼動中。

デモンストレーション好評受付中！

ご興味のある施設様は、「この冊子を見た」と下記まで、お問い合わせください。

大和ハウス工業株式会社 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号
 ヒューマン・ケア事業推進室 ロボット事業推進室



青いダック

生きるための
がん保険 Days

現在のがん治療に合わせて進化した
「アフラックの新しい」がん保険

ちゃんと考える人に。
新登場。

ちゃんと応える
医療保険

NEVER



マラ・マスタワン アフラックグック

お問合せ先

募集代理店 **国際保険株式会社**
 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

☎ 0120-5931-98

引受保険会社
Aflac

首都圏総合支社
 東京都新宿区西新宿1-23-7新宿ファーストウエスト17F TEL.03-3344-1580

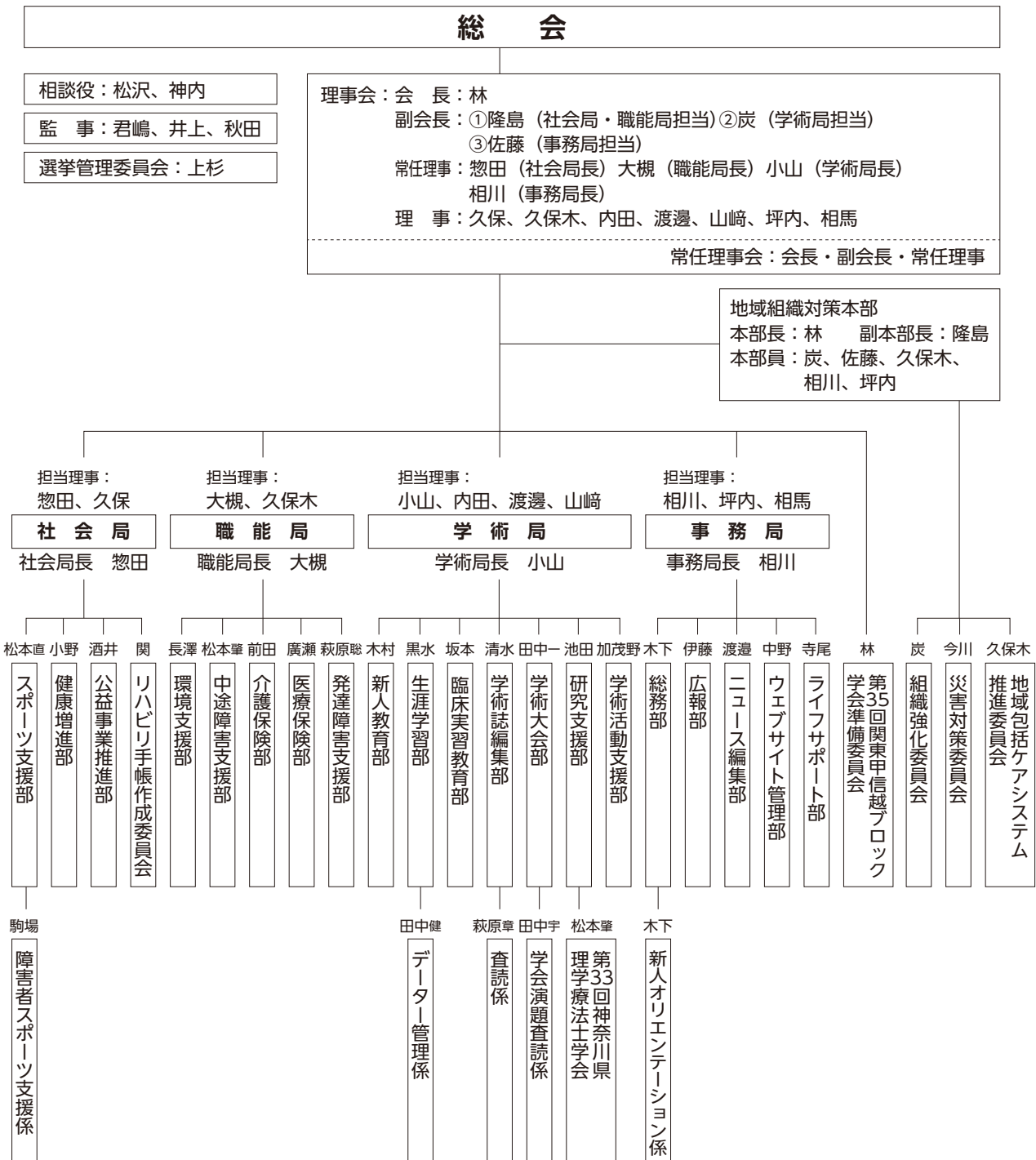
アフラックは
 がん保険・医療保険
 契約件数

★★★★
No.1

平成25年度「インシディアランス」生命保険統計

2015年度 (公社)神奈川県理学療法士会組織図

2015年8月18日、理事会承認



あなたのニーズを

“かたち” にします

義肢・装具・車いす・座位保持装置etc



<http://www.kimura-gishi.co.jp/>

(有)木村義肢工作研究所

〒247-0006神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号

TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560

2015年度（平成27年度） 公益社団法人神奈川県理学療法士会 役員

会長

林 克郎 横浜リハビリテーション専門学校

副会長

隆島 研吾 神奈川県立保健福祉大学

炭 孝昭 太田総合病院

佐藤 史子 横浜市総合リハビリテーションセンター

社会局担当理事

惣田 洋 横須賀共済病院

久保 雅昭 横浜総合病院

職能局担当理事

大槻かおる 花音訪問看護ステーション

久保木あずみ スギ訪問看護ステーション都筑

学術局担当理事

小山理恵子 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院

内田 賢一 神奈川県立保健福祉大学

渡邊 裕之 北里大学医療衛生学部

山崎 哲司 横浜市総合リハビリテーションセンター

事務局担当理事

相川 浩一 介護老人保健施設アゼリア

坪内 敬典 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校

相馬 光一 神奈川リハビリテーション病院

監事

君嶋 武司 自宅

井上 保 神奈川県立総合療育相談センター

秋田 裕 自宅

相談役

松沢 博 自宅

神内 擴行 特別養護老人ホームレストフルヴィレッジ

2015年度（平成27年度） 公益社団法人神奈川県理学療法士会 部長・委員長

スポーツ支援部長

松本 直也 東戸塚記念病院

障害者スポーツ支援係長

駒場佳世子 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

健康増進部長

小野 順也 聖マリアンナ医科大学病院

公益事業推進部長

酒井 勇紀 小林病院

リハビリ手帳作成委員長

関 諒介 山本記念病院

環境支援部長

長澤充城子 川崎市れいんぼう川崎

中途障害支援部長

松本 肇 鶴巻温泉病院

介護保険部長

前田 玲 介護老人保健施設さつきの里あつぎ

医療保険部長

廣瀬 仁 太田総合病院

発達障害支援部長

萩原 聡 横浜市東部地域療育センター

新人教育部長

木村 充広 横須賀共済病院

生涯学習部長

黒水 俊吾 大船中央病院

データ管理係長

田中 健康 七沢リハビリテーション病院脳血管センター

臨床実習教育部長

坂本 美喜 北里大学医療衛生学部

学術誌編集部長

清水 美紀 横浜市総合リハビリテーションセンター

査読係長

萩原 章由 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

学術大会部長

田中 一秀 株式会社AwesomeLife

第33回神奈川県理学療法士学会長

松本 肇 鶴巻温泉病院

学会演題査読係長

田中 宇徳 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院

研究支援部長

池田 崇 介護老人保健施設

学術活動支援部長

加茂野有徳 昭和大学保健医療学部

総務部長

木下 尚久 介護老人保健施設つくしの里

広報部長

伊藤 智一 北新横浜整形外科・外科

ニュース編集部長

渡邊観世子 国際医療福祉大学

ウェブサイト管理部長

中野 靖士 森の里病院

ライフサポート部長

寺尾 詩子 聖マリアンナ医科大学病院

地域組織対策本部長

林 克郎 横浜リハビリテーション専門学校

組織強化委員長

炭 孝昭 太田総合病院

災害対策委員長

今川 祐子 済生会横浜市東部病院

地域包括ケアシステム推進委員長

久保木あずみ スギ訪問看護ステーション都筑

選挙管理委員長

上杉 上 横浜市立大学附属病院

第35回関東甲信越ブロック学会長

林 克郎 横浜リハビリテーション専門学校

新人教育プログラム



平成27年度 第3回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

(公社) 神奈川県理学療法士会 学術局 新人教育部

この度、平成27年度の第3回新人教育プログラム研修会の詳細につきましてお知らせいたします。

1. **開催日**：平成27年12月6日（日）
受付開始時間 9：30～（予定）
2. **開催地**：神奈川県立保健福祉大学 講堂
3. **交通**：京浜急行「県立大学駅」下車 徒歩8分（案内図参照）。
4. **受講費**：本会会員 1,000円
（受講単位数に関わらず一律1,000円）
他士会会員 4,000円
（受講単位数に関わらず一律4,000円）
5. **内容**：新人教育プログラム研修会

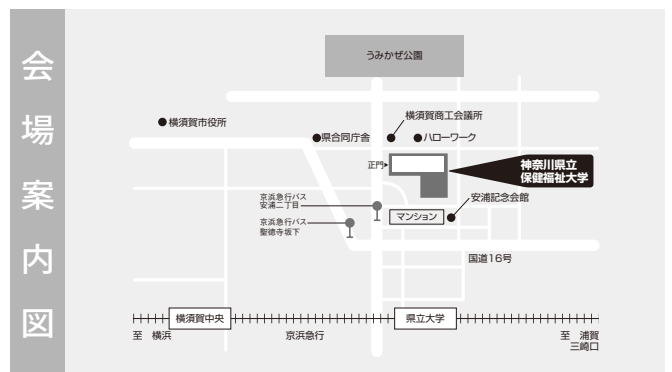
予定時間	研修会テーマ	単位
10：00-11：00	D-2 生涯学習と理学療法の専門領域	1
11：05-12：05	D-3 理学療法の研究方法論 (EBPT含む)	1
昼食		
13：00-14：00	E-2 コーチングとティーチング (コミュニケーションスキル含む)	1
14：05-15：05	B-2 クリニカルリーズニング	1
15：10-16：10	D-1 社会の中の理学療法	1

6. **申込方法**：事前Web登録方式です。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。
登録は研修会テーマごとの受講登録が必要になります。個々のテーマは独立した研修会ですので各々の登録が必要になります。
受講登録が済みますと自動返信メールがお手元に届きますので返信内容をお手元に保管し、受講受付の際に確認できるようにご準備ください。
自動返信メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご一報くださりますようお願いいたします。
新人教育プログラム研修会では、受付の際に登録の完了が確認できなければ受講をお断りしております。

7. **申請テーマのキャンセル**：
事前登録で申請したテーマ以外への変更および当日キャンセルはできかねますのでご承知おきください。
やむを得ずキャンセルしなければならない場合は、**研修日以前は本会事務局 (office@ptkanagawa.or.jp) へ、研修会当日は専用PHS：070-5020-9036まで必ずご連絡ください。**
8. **講義資料**：日本理学療法士協会HPの「マイページ」より各々の受講テーマをダウンロードしご持参下さい。
9. **定員**：400名（先着順）
10. **申し込み期間**：
申込開始日：平成27年11月 3日（火）
申込締切日：平成27年11月30日（月）
※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。日程に余裕をもった登録をお願いいたします。

- 注) 会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。
- 注) カードリーダーによる受講受付となります。必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参下さい。
- 注) 研修終了時に**改めて終了受付があります**。終了受付を済ませずに帰宅すると、**単位認定できない場合があります**ので注意してください。
- 注) 昼食は各自でご用意ください。(ロービーでの飲食は可能ですが、ホール内での飲食は厳禁となっています)

問合せ先：横須賀共済病院 リハビリテーション科
e-mail：reha-ykh@ykh.gr.jp
新人教育部 部長：木村 充広



活動報告



(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 講師派遣事業

平成27年度第1回市内保健師連絡会議に参加しました。

神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次

去る平成27年7月22日（水）平塚市役所におきまして「災害時における保健活動について」-（公社）神奈川県理学療法士会災害対策委員会の活動等から学ぶ-をテーマに平成27年度第1回市内保健師連絡会議が開催されました。平塚市職員の保健師、看護師を対象とした災害時における医療支援体制を検討する研修会の講師を担当させていただきました。

平塚市保健師連絡会では、「地域防災」をキーワードにした顔の見える関係性づくり、ネットワークの構築を目的に2月に開催した本会主催の「平塚・湘南西部地区災害対策キャラバン」以降、講師としてご参加いただいた古田美穂氏を中心に「災害が発生していない状況においても、日頃の地域での保健活動をとおして地域住民の生活を把握し地域の関係団体等との連携を図っておくことが必要である」という方針のもと、災害時における初動対応について積極的な検討がなされてきました。

研修会では、災害発生時から3日間における各課の災害時の保健師の役割について検討し、具体的な医療トリアージと保健福祉的トリアージの体系や医療救護所の設営・運営に

医療トリアージと保健福祉的トリアージが同時並列的に展開するために災害時におけるリハビリテーションの役割も明確にしていく必要があります。そして「トリアージ」という言葉の使用に関しても検討を重ねていく必要性を感じました。



近隣の茅ヶ崎市や神奈川県からの参加もありいろいろな立場から、中長期的な「暮らし」の視点をもった災害支援について検討しました。またそれぞれの配属されている部署が抱える課題についても共有する事が出来ました。防災について考えていく地域づくりに繋がる。本会災害対策委員会主催の災害対策キャラバンより平塚市との連携が強まり、今回の講師依頼にも繋がりました。災害対策キャラバンの成果として「防災を学ぶことは地域づくりを学ぶこと」を改めて感じた研修会となりました。

災害対策委員会では災害支援対策関連の勉強会、研修会の講師派遣を承っております。9月27日（日）には第4回災害対策研修会を11月15日（日）には川崎北部災害対策キャラバンを開催いたします。より多くの方々のご参加をお願い致します。

平均震度	被害想定		
	震度5弱-6弱	震度6弱-6強	震度7
自力脱出可能者数(人)	20	90	12600
帰宅困難者数(人)	28660	28660	28660
避難者数 震度3以上(人)	2990	2990	2990
避難者数 1日 1人 1ヶ月間 1人	6,040 3,560	10,580 8,160	226,630 212,630

ついて、また災害救援者のメンタルヘルス対策について東日本大震災時の具体的な事例をもとに積極的な意見交換を行いました。

TVで紹介の“足こぎ車いす”

ショールーム 横浜そごう 9階（横浜駅徒歩2分）

■お問い合わせ 0120-12-6186（営業時間 10:00～20:00）

 神奈川県 神奈川ロイヤル株式会社

〒220-0011 横浜市西区高島 2-18-1
TEL: 045-440-3911 FAX: 045-440-3912

活動報告

第50回日本理学療法学会シンポジウム報告

ライフサポート部 大島奈緒美さん

会員ライフサポート部
活動報告
職場環境を考える

第53報

平成27年6月5日から3日間にわたり、「理学療法50年のあゆみと展望～新たなる可能性への挑戦～」をテーマに東京国際フォーラムにおいて第50回日本理学療法学会大会が開催されました。今回は50回目の節目を迎えた記念大会でもあり、多くの参加者でにぎわっておりました。大会3日目、ライフサポート部主催のシンポジウムを行い、その座長を務めさせていただきましたので、今回はその内容をご報告させていただきます。



↑左から西本浩子氏（千葉県士会）、永野忍氏（福岡県士会）町田靖氏（長野県士会）、大島奈緒美（筆者・ライフサポート部）、大槻かおる（ライフサポート部）

シンポジウムのテーマは、「就業継続に関する問題について考える～都道府県士会での会員支援の取り組みから～」でした。ライフサポート部ではこれまで様々な形で就業継続に関する問題を取り上げており、そこには多くの課題があり、私たちも悩みながら情報発信を続けておりました。今回は全国の都道府県士会の取り組みを調査する中で、より全国の理学療法士に身近な問題として関心を持ってもらいたいという思いからこの企画を考えました。そこで、事前に全国の各理学療法士会にアンケート調査を実施し（回収率80%）、その結果を報告するとともに、その中より積極的に取り組まれている4士会の代表をシンポジストとして活動報告をしていただきました。

まず当会より、先行して行われた各都道府県士会へのアンケート調査報告を大槻かおるより報告いたしました。調査は平成26年9月から1ヶ月間に行われ、解答のあった38都道府県士会のうち、すでに20士会で復職支援事業は行われており、計画・準備の段階も含めると36士会で就業継続に関する活動をしていることがわかりました。しかし多くの士会より、会員の実態把握の困難さが挙げられ、さらに啓発・教育の必要性があるが予算・マンパワーの問題がといった課題がでていました。

（公社）東京都士会事務局ライフサポート部、岡安健氏からは、日本の育児・介護休業の取得率や休業給付金の現状や待機児童数の推移などの報告がありました。東京都士会として平成26年度より立ち上げた事務局ライフサポート部の設立背景や具

体的な26年度の会員支援事業について発表してもらいました。会員の動向調査や講習会の企画をしており、中でも今後、地域包括ケアシステムや東京オリンピックの中で活躍するために他業種との連携を考えているということが印象的でした。

（一社）長野県士会社会局厚生部、町田靖氏からは、平成18年から取り組まれている活動報告のなかで「働きやすい環境づくり部会」として発足した経緯、さらには平成24年に行った「退職後、ブランクを経て復職を経験した方へのアンケート」の報告がありました。また平成25年度にはワークライフバランス講習会を開催し、その参加者の1年後の行動変容に関する追跡調査を行い、より具体的な興味深い発表をしていただきました。やはり職場環境の重要性を伝えられていました。

（一社）千葉県士会職能局WLB部、西本浩子氏からは、平成19年に女性会員支援推進委員会としてスタートし、平成22年にはワークライフバランス部へ昇格、多くの研修会や学会発表を行っている報告がありました。アンケート調査も3回行われ、職場環境の調査と同時に離職理由や部下への就業支援が必要となった要因や配慮点の質問、さらにはストレス調査の報告もありました。

（公社）福岡県士会総務局組織部、永野忍氏からは、福岡県女性理学療法士の課題を考える委員会、委員長として発表していただきました。会員の休会と退会の男女比の比較などから就業継続に関する問題点を検討されていました。以前の調査では解決して欲しい要望には上らなかった出産・育児による職場環境の問題などが今の就業継続において影響があるのではないかとこのことで今年度会員にアンケートを予定しているとのことでした。

最後は全員でのディスカッションを行いました。今回の調査の中でもまだ取り組みを始めていない都道府県士会もあり、このように各都道府県において会員に向けた就業継続に関わる取り組みのきっかけや会の設立までの苦労を話していただきました。皆さん手探りで、問題把握や制度の啓蒙活動が重要だということでした。「まずは知ること！」ここから始まるとのことでした。今後の課題としては都道府県士会が会員支援の重要性を、さらにすべての会員にとってもその重要性を認識してもらうことが鍵のようです。

今回のシンポジウムを通して、理学療法士の就業継続の取り組みが全国的に動き出すきっかけとなればと、当会スタッフ一同、心から願って終わりました。新しい課題が次々と出てきており、私たち部会はまた新たな調査に動き出しています。今後もライフサポート部は皆様にとって有益な情報を発信していきたいと思えます。

* お知らせ *

復職支援実務研修の参加者募集中！！
託児室付研修会（11月、1月）
家族で参加できるサテライト研修（12月）
ホームページを覗いてみてください



公益事業推進部からの報告

神奈川県リハビリテーション病院 相馬 光一

公益事業推進部は上半期の事業として毎年横浜そごう前の新都市プラザで開催している「理学療法フェスティバル」と「理学療法フェスタ」を実施しています。

今年の理学療法フェスティバルは6月14日に開催しバランス測定としてファンクショナルリーチを計測し転倒予防の啓発を行いました。233名の方が測定に参加しました。また、エコバックに土会リーフレット、笑顔をあきらめないリーフレット、理学療法フェスタチラシを入れ、540名の方に配布いたしました。

理学療法フェスタでは協会の介護予防推進キャンペーンとして「公開講座介護予防キャラバン」を7月12日にウィング横浜で開催し35名の参加者でした。5m歩行所要時間を計測し歩行年齢判定も行いました。「スポーツ傷害セミナー」はテーマを「スポーツにおける、ひざ・足のけがの予防について」として青葉さわい病院の宮本謙司氏にご講

演いただき8月16日に開催し51名の参加者でした。「公開セミナー」はテーマを「COPDと呼吸リハビリテーション」として神奈川県立保健福祉大学の内田賢一氏にご講演いただき8月23日に開催し26名の参加者でした。「療育セミナー」はテーマを「豊かに生きる～障がいのあるこども達の発達と栄養～」として高増哲也氏（神奈川県立こども医療センター NST座長 アレルギー科医師）、高橋賢太郎氏（横浜市北部地域療育センター 理学療法士）、和田碧氏（神奈川県立こども医療センター 管理栄養士）の三人にご講演をいただき8月29日に開催し105名もの参加者でした。理学療法見学会は県内8施設で開催し参加者は51名でした。

第50回日本理学療法学会の大会企画として都道府県士会などの活動研究報告に「神奈川県における理学療法週間事業について」過去5年間の実績をまとめポスター発表いたしました。



活動報告



2015（平成27）年度補正予算報告

事務局長 相川 浩一

2015（平成27）年6月14日開催の第36回定時総会にて、2014（平成26）年度決算が承認されたことを受け、2015（平成27）年8月18日開催の第3回理事会にて、定款35条1項の規定により補正予算の審議が行われました。理事会にて承認された補正予算を以下に報告します。詳細な内訳については本会ホームページをご確認ください。

【補正予算内容】

- ①地域組織推進事業 活動費(新規事業)
- ②神奈川県介護予防従事者研修
(神奈川県からの依頼、昨年度も実施)
- ③第35回関東甲信越ブロック学会積立金
(予算修正)
- ④地域包括システム推進事業(予算修正)
- ⑤理学療法普及啓発キャンペーン広報(予算修正)
- ⑥ホームページ情報の運営・情報掲載(予算修正)

	H27年度予算額	補正額	H27年度補正後予算
経常収益計	52,350,000	6,455,000	58,805,000
経常費用計	50,778,493	7,524,000	58,302,493
(内公益目的事業費)	30,385,161	6,749,000	37,134,161
当期経常増減額	1,571,507	-1,069,000	502,507
正味財産期末残高	54,329,530	-1,069,000	53,260,530

単位：円

月	日	内容	場所
6月	14日(日)	第2回理事会	横浜リハビリテーション専門学校
	17日(水)	第9回関東甲信越ブロック学会準備会議	横浜市脳卒中・脊髄センター
	19日(金)	(株)アルケア「おいそ産官学連携事業」打合せ	横浜リハビリテーション専門学校
	21日(日)	神奈川県保険医協会懇親会	シェラトンホテル
	23日(火)	第4回常任理事会	事務所
7月	4日(土)	第3回事業運営会議、拡大会議	事務所
	8日(水)	地域包括ケア対策会議	事務所
	9日(木)	神奈川県知事会長就任あいさつ (公社)神奈川県医師会会長就任あいさつ	神奈川県庁 医師会事務所
	14日(火)	地域包括ケア対策会議 神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア局会長就任あいさつ	事務所 神奈川県庁
	22日(水)	医療専門職連合会理事会	作業療法士会事務所
	23日(木)	コンベンションアカデミア打合せ	横浜リハビリテーション専門学校
	24日(金)	ヨックテック視察	パシフィック横浜展示ホール
	29日(水)	事務処理	事務所
8月	5日(水)	第5回常任理事会	事務所
	6日(木)	第10回関東甲信越ブロック学会準備会議	横浜リハビリテーション専門学校
	10日(月)	組織強化委員会	事務所
	11日(火)	事務局広報部勉強会	事務所
	18日(火)	第3回理事会	事務所
	21日(金)	スポーツ支援部会議	事務所
	24日(月)	地域組織対策本部会議	事務所
	27日(木)	神奈川県医師会新役員就任披露の会	ロイヤルパークホテル
	30日(日)	(公社)日本理学療法士協会オリ・パラ対策本部、地域理学療法士会	田町カンファレンスルーム
	31日(月)	第11回関東甲信越ブロック学会準備会議	横浜リハビリテーション専門学校





第33回 神奈川県理学療法士学会 —プログラムと準備の進捗状況（2）—

第33回神奈川県理学療法士学会の準備状況をお伝えいたします。盛りだくさんの内容で、楽しく、そして有意義な一日になるよう、準備委員一同、頑張ってお進めております。一人でも多くの会員の皆さまにご参加いただき、熱い討議ができますことを期待しております。

学会テーマ

「症例報告～一人の患者さん・利用者さんに対してじっくり考えよう」

本学会のテーマは、現在の県士会員のおかれている状況と2025年問題、地域包括ケアシステムなどの社会情勢を考え、決定されました。

一人ひとりの理学療法士が、急性期・回復期・生活期の各フェーズにおける理学療法を正しく理解し、説明できるということは、今後も強く求められるのではないのでしょうか。そして、私たち理学療法士がより高い専門性を発揮していくこともまた、引き続き強く求められることになるものと思われまます。

口述・ポスター発表の場から臨床のヒントを得よう！

口述発表・ポスター発表は学会の「肝」です。理学療法士自身が研究を行う意味は「成果を応用するとともに、研究を通して身に着けられる問題解決能力や論理性・表現能力によって日頃の臨床や教育に貢献するため」と言われています。（『理学療法研究法』より抜粋）

日頃の観察、経験から生まれた課題や疑問。発表者とともに皆で考え、会場で意見交換し、ぜひ日々の臨床のヒントとしていきましょう。

各企画の講師陣はもちろん「オール神奈川」！

教育講演「生涯学習における症例報告の重要性（仮）」

神奈川県立保健福祉大学 長澤 弘先生

言わずと知れた神奈川県を代表する理学療法士の一人である長澤先生を、講師にお迎えいたします。これまでも数多くの講習会や研究論文を通して、症例報告の意義や報告の仕方などを鋭く、分かりやすく論じられています。若手から中堅、ベテランに至るまで、学ぶところの大きい貴重な機会となるのではないのでしょうか。

県民公開講座「元気は自分でつくる。限界も自分でつくる。—その限界を壊して、可能性を信じて—」

平塚スポーツセンター 豊田 玲子先生

ボディフィットネス日本代表の経歴をお持ちで、平塚スポーツセンターのパーソナルトレーニングジムにてプロスポーツ選手や俳優、モデル、アーティスト、高

齢者まで幅広い指導経験をお持ちの理学療法士です。講義とともに簡単なエクササイズを行う、参加型の講座を予定しています。一般県民や関連職種の方々にとっても、興味・関心の高い分野を取り上げていただく予定です。

シンポジウム「養成機関と臨床現場の協働（仮）」

横浜リハビリテーション専門学校 中村 啓文先生

北里大学 坂本 美喜先生

藤沢湘南台病院 齋川 大介先生

横浜市脳卒中・神経脊椎センター 松葉 好子先生

卒前教育 - 卒後教育の連動は重要なテーマの一つです。本シンポジウムの目的は①養成機関で行われている教育の現状（最新情報など）を知ること、②臨床現場で行われている卒後教育の取り組みを知ること、③これからの若手育成のヒントを得ることとなります。

ハンズオンセミナー 1「軟部組織モビライゼーション—肩関節を中心に—（仮）」

国際医療福祉大学小田原保健医療学部 黒澤 和生先生

ハンズオンセミナー 2「認知運動療法（仮）」

平塚共済病院 沼田 浩吉先生

ハンズオンセミナーは、より実践的な評価・治療を考える場と位置づけています。目の前で展開される理学療法の一場面から、日頃の臨床における具体的で実践的なヒントを学び得ることができるのではないのでしょうか。

地域症例リレー「平塚市におけるリハビリテーション連携（仮）」

急性期：平塚市民病院

回復期：ふれあい平塚ホスピタル

老健：湘南シルバーガーデン

訪問リハ：ふれあい平塚ホスピタル

実際の事例を通して、急性期・回復期・生活期におけるシームレスなリハビリテーション過程を、各フェーズの病院・施設ごとにリレー形式で発表していただきます。

学会の準備は日々、着々と進んでいます！

上記以外の企画も、現在進行形で準備を進めています。学会ホームページも開設されておりますので、最新情報は（公社）神奈川県理学療法士会ホームページ、あるいは以下よりご確認ください。

<学会HP：<http://congress-kpta.jimdo.com/>>

【開催日時】平成28年3月13日（日） 9:00～18:00

【開催場所】パシフィコ横浜 3階



News

主催：公益社団法人 日本理学療法士協会 関東甲信越ブロック協議会
 担当：公益社団法人 神奈川県理学療法士会



第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会のお知らせ

おかげさまで**35周年** 山梨の次は **神奈川**です



会 期 **2016**年10月29日(土)～30日(日)

会 場 **パシフィコ横浜**

学 会 長 **林 克郎**

横浜リハビリテーション専門学校
 神奈川県理学療法士会会長

副 学 会 長 **小山理恵子**

準備委員長
 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院

テーマ

生き生きと、活き活きと、粹々と

— 2020年、2025年への展望 —

学会長からの
メッセージ

理学療法士、そして理学療法士がサービスを提供する対象者が、さらに社会全体が、2020年・2025年の節目に是非このような姿であってほしいとの願いから、テーマを「生き生きと、活き活きと、粹々と」とし、サブテーマを「—2020年、2025年への展望—」としました。

本学会開催の2016年はリオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピックの開催年であり、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けフラッグが引き継がれた後の開催日程となっております。実際にオリンピックに携わった理学療法士を招へいし、2020年に我々理学療法士とアスリートが共に「生き生きと、活き活きと、粹々と」活躍するために、関東甲信越ブロックに所属する理学療法士が何をなすべきなのか、その準備に向けたきっかけ作りの場の一つとなることを期待しております。

さらに、理学療法士が「生き生きと、活き活きと、粹々と」した地域づくりに積極的に関与することを期待されている現在、2025年の後期高齢者の増加に伴う種々の問題解決に向け展開されている、地域包括ケアシステムの確認と今後の展望について、参加者の皆さんと共に考える場になりたいと考えております。

本学会が開催される2016年には、本ブロックの会員数は約3万人となっていることが予測されています(2015年3月現在、27,337人)。全国の会員の約30%が所属する大勢の会員で構成されており、かつ全国学会の在り方が変わりつつある現在、新人、中堅の理学療法士の学術発表の機会を確保すべく従来に比べ講演を極力少なくし、その発表の門戸を大きくしました。そして、若い理学療法士が将来の夢を語り、実現するための材料を提供することが本学会の役割の一つとして考えております。

* 演題登録期間は平成28年3月中旬～4月末を予定

研修会・講習会



●県士会主催

平成27年度 運動器理学療法領域講習会のお知らせ

(公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：胸郭・骨盤帯の機能障害と理学療法

内容：体幹は頭部および四肢の土台としての役割があり、その機能不良が頭部や四肢の運動に影響し、運動器疾患の誘発因子となり得ることはよく知られている。運動器障害を有する患者の体幹機能や運動を評価する際、特に脊柱が着目されることが多い。しかし、胸椎は肋骨および胸骨と、仙骨は尾骨および寛骨とそれぞれ集合体として機能している。そのため、脊柱のマルアライメントや運動異常が集合体としての運動に悪影響を及ぼすこともあれば、例えば肋骨など他の構成要素の運動制限が脊柱の運動異常を引き起こす可能性もあり、体幹の評価およびアプローチでは胸郭および骨盤帯に着目することも重要である。また、体幹は内臓を保護およびサポートする役割がある。そのため、体幹に運動機能障害がある場合、内臓器の位置・機能異常が併存している事が少なくない。我々理学療法士はその点も念頭に置いて、患者の評価およびアプローチに臨む必要があると考える。

日時：平成28年1月23日(土)13:00～16:00(受付開始12:30～)

会場：横浜市社会福祉センター ホール
(最寄駅：JR 京浜東北・根岸線 横浜市営地下鉄(ブルーライン) 桜木町駅 徒歩3分)

講師：石井 美和子先生 (Physiolink)

受講料：県士会員 2,000 円、他都道府県士会員 5,000 円
受講費は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。入金確認できましたら、受講登録が完了します。支払期日までに入金確認ができない場合、お申し込みをキャンセルさせていただきます。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前 Web 登録をお願いします。

神奈川県理学療法士会ホームページの [講習会・研修会情報] をご参照ください。

申込受付期間：平成27年11月23日(月)14:00

～平成28年1月3日(日)17:00

定員：200名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります)

対象：理学療法士

単位認定：【新人教育プログラム履修者】

理学療法の臨床 C-2 運動器疾患の理学療法：1単位
【認定・専門理学療法士制度 専門分野登録者】(旧専門領域研究部会)

「2. 講習会・研修会の受講 5) 都道府県士会主催の講習会・研修会」：10ポイント

一対象専門分野一

3. 運動器理学療法専門分野

a 認定理学療法士(運動器)

e 専門理学療法士

お問い合わせ先：E-mail: koike-77m@kuhs.ac.jp

(公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

小池友佳子

(神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科

理学療法専攻)

お問い合わせはメールでお願いします。

臨床実習教育部主催 研修会のご案内

テーマ：「臨床実習指導入門～臨床実習指導の進め方～」

内容：今回の研修会は、テーマを「臨床実習入門～臨床実習指導の進め方～」といたしました。実習生を受け入れる際の事前準備や、実習開始後の実習の展開方法や学生への指導方法など、具体的な臨床実習の進め方について、ご講演をいただきます。特に、実習生の指導経験が少ない方や他施設での指導方法を知りたいという方には、大変参考になる内容です。多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成28年2月7日(日)13:00～16:00(受付開始12:30～)

会場：相模原市立市民・大学交流センター
ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2
(〒252-0303 相模原市南区相模大野3-3-2 bono 相模大野サウスモール3階/小田急線 相模大野駅下車)

講師：松葉 好子先生(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター)

参加費：無料

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前 web 登録をお願い致します。

神奈川県理学療法士会ウェブサイト [講習会・研修会・イベント情報] をご参照ください。

申込受付期間：平成27年12月1日(火)～平成28年1月24日(日)

定員：100名

対象：(公社)神奈川県理学療法士会会員

単位認定：履修ポイントの最新情報については、本会ホームページで確認してください。

お問い合わせ先：E-mail: rinsho-jisshu@pt-kanagawa.or.jp

臨床実習教育部長 坂本美喜

(北里大学医療衛生学部)

研修会・講習会



健康チャレンジフェアかながわスタッフ募集

内容：健康チャレンジフェアにブース出展します。健康相談（高齢者にはFRI）や測定（ファンクショナルリーチテストや片脚立位）を行い、国民向けの介護予防冊子を配布します。
業務内容は体力測定や相談業務、受付・案内です。

開催日時：11月28日（土）11：00から16：00（予定）

会場名：クイーンズサークル（みなとみらいクイーンモール 1F）

受講条件：神奈川県士会員のみに
定員：10～15名

履修ポイント：介護予防推進リーダーの士会指定事業に該当
※資格取得のための詳細については日本理学療法士協会ホームページを参照してください。

申込方法：Web 受付

申込要項：入会年度欄に、経験年数をご記入ください。

申込開始日：2015年10月1日 12：00～

申込締切日：2015年10月30日

その他：動きやすい服装

お問合せ：神奈川県理学療法士会
事務局 電話 045-326-3225

●他団体

【触診が苦手な方限定】 骨の触診セミナー【臨床編】／筋の触診セミナー【臨床編】

内容	日程	会場
【触診が苦手な方限定】 骨の触診セミナー【臨床編】	・治療につなげる骨の触診(山崎) 上肢：胸鎖関節、肩甲胸郭関節、肩甲上腕関節、腕尺関節、腕橈関節、手関節、近位手根骨、遠位手根骨、中手骨 下肢：股関節、膝蓋大腿関節、近位・遠位脛腓関節、距腿関節、リスフラン関節、足趾 体幹：頸椎、胸椎、腰椎、仙腸関節 ・関節モビライゼーション(大塚)	9月26日(土) 10月25日(日) 11月28日(土) 12月27日(日) 10時～16時 ※内容はすべて同じです。ご都合のつく日程にお申込みください。
【触診が苦手な方限定】 筋の触診セミナー【臨床編】	・治療につなげる筋の触診(山崎) 上肢：斜角筋、棘下筋 下肢：腸腰筋、膝窩筋、膝蓋下脂肪体 体幹：胸鎖乳突筋、多裂筋 ・筋膜リリース(大塚)	9月27日(日) 10月24日(土) 11月29日(日) 12月26日(土) 10時～16時 ※内容はすべて同じです。ご都合のつく日程にお申込みください。
		すべてウィリング横浜 9月26日(土) 11F 研修室111 10月25日(日) 11F 研修室111 11月28日(土) 5F 研修室502 12月27日(日) 横浜市内で検討中 9月27日(日) 9F 和室 10月24日(土) 11F 研修室111 11月29日(日) 11F 研修室111 12月26日(土) 5F 研修室501

主催：体質改善専門整体院 永久

受講料：9,800円

講師：山崎 瞬 理学療法士
大塚 久 理学療法士

定員：一人ひとりの習得率を重視するため24名限定とさせていただきます。

注意事項：セミナーHP:<http://tohaseminar.jimdo.com/syokushinkotsuhon/>

申込方法：セミナーHP：<http://tohaseminar.jimdo.com/syokushinkinhon/>
または氏名、所属、経験年数、職種、電話番号、メールアドレスをご記入の上（taishitsutohwa@gmail.com）までご連絡ください。

お問合せ：taishitsutohwa@gmail.com 事務局 大塚 までご連絡ください。



理事会報告



公益社団法人 神奈川県理学療法士会 2015年度第1回理事会報告

I. 開催日時：2015年5月19日(火) 19:00～20:55

II. 会場：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事現在数及び定足数並びに出席理事数とその氏名

理事現在数：15名 定足数：8名

出席理事数：14名

出席理事：秋田 裕、隆島研吾、炭 孝昭、林 克郎、佐藤史子、惣田 洋、大槻かおる、坪内敬典、相川浩一、小山理恵子、内田賢一、岡本賢太郎、久保雅昭、久保木あずみ

IV. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数：3名

出席監事：井上 保、君嶋武司、安藤徳彦

V. 出席第33回神奈川県理学療法士会学会会長氏名

第33回神奈川県理学療法士会学会会長：松本 肇

VI. 出席事務職員氏名

出席事務職員：小野田誠子、小林和美

VII. 議長の氏名

秋田 裕

VIII. 議題

第1号議題 2014年度(平成26年度)事業報告ならびに収支計算書の承認について

第2号議題 2015年度(平成27年度)定時総会の招集について

第3号議題 定款細則改訂について

第4号議案 役員選挙候補者の推薦について

第5号議案 業務執行の決定について
(事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む)

IX. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

1 定足数の確認等

議長が理事会冒頭で定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣言した。

2 第1号議案 2014年度(平成26年度)事業報告ならびに収支計算書の承認について

議長の求めに応じ、佐藤事務局長より2014年度(平成26年度)事業報告ならびに事業報告

明細書、収支計算書等の書類として正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、貸借対照表、貸借対照表内訳表、財産目録について説明があった。

平成27年5月17日(日)に本会事務所にて、監事3人による監査会が開催された。

監事を代表し、井上監事より監査報告について説明があった。

(1)事業報告等の監査の結果

(2)計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等の監査結果

監査報告書の通り、監査書類は適正に作成され2014年度(平成26年度)事業が問題なく遂行されていたことを確認した旨の報告があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

3 第2号議案 2015年度(平成27年度)第36回定時総会の招集について

議長の求めに応じ、佐藤事務局長より、2015年度(平成27年度)第36回定時総会の招集について説明があった。

平成27年6月14日(日)横浜リハビリテーション専門学校にて開催

審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認された。

4 第3号議案 定款細則改訂について

議長の求めに応じ、佐藤事務局長より定款細則改訂について説明があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

5 第4号議案 役員選挙候補者の推薦について

議長の求めに応じ、佐藤事務局長より役員選挙候補者の推薦について説明があった。

監事候補 定数3名については、立候補者なしのため井上 保氏、君嶋武司氏、秋田 裕氏を推薦することが、報告された。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

6 第5号議案 業務執行の決定について

(事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む)

(1)佐藤事務局長より会員の資格取得について、前回理事会からの入会予定者176名、転入者74名の申請があったと説明され、平成27年5月19日現在の会員数が4,428名との報告があった。

審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(2)佐藤事務局長より、各種団体より以下の後援・共催・協賛依頼があったとの報告があった。

ア 第9回全国大学理学療法教育学会大会

「第9回全国大学理学療法教育学会大会」後援

イ 第26回全国介護老人保健施設大会神奈川県横浜「第26回全国介護老人保健施設大会神奈川県横浜」後援

ウ 神奈川県体育協会「平成27年度神奈川県トレーナー研修会(前期)」後援

エ 神奈川県立麻生養護学校「特別支援学校教諭に対する講義と実技」共催

オ 神奈川県総合リハビリテーションセンター 地域支援センター

「脳血管障害の理学療法」後援

カ 横浜市リハビリテーション事業団「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2015」後援

キ 神奈川県総合リハビリテーションセンター 地域支援センター

「PTハンドリング入門」後援

審議の結果、仮承認済も含め原案の通り出席理事全員一致で承認された。

(3)佐藤事務局長より、以下の会員推薦依頼があったとの報告があった。

ア 神奈川県介護支援専門員協会「神奈川県介護支援専門員協会理事候補者」

イ 訪問リハビリテーション振興財団

「平成27年度第6回訪問リハ・地域リーダー会議出席者」

ウ 茅ヶ崎市社会福祉協議会

「障害者生活支援センター専門援助相談(理学療法相談・住宅改修相談)委員」

エ 鎌倉市「鎌倉市障害者介護給付等の支給関する審査会委員」

オ 神奈川県労政福祉課

「平成27年度ワーク・ライフ・バランスアドバイザー派遣事業における「仕事と介護の両立推進前講座」への講師」

カ 神奈川県医療課「神奈川県リハビリテーション協議会連携指針検討部会委員」

キ 横浜市社会福祉協議会障害者支援センター

理事会報告

- 「地域活動支援巡回相談」
- ク 横浜市高齢健康福祉部「地域リハビリテーション活動支援事業」
- ケ 神奈川県高齢社会課「介護予防事業ワーキング」
審議の結果、仮承認済を含め原案の通り出席理事全員一致で承認された。
- (4) 佐藤事務局長より、以下の会議室使用申請があったとの報告があった。
日本小児学療法学会(5月11日、6月8日)、神奈川県糖尿病療養指導研究会(5月18日)
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。
- (5) 佐藤事務局長より、以下の依頼があったとの報告があった。
ア 第50回日本理学療法学会
「第50回日本理学療法学会大会広報活動のご協力をお願い」
イ 日本基礎理学療法学会「学会広報について(お願い)」
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。
- (6) 隆島副会長より、災害対策委員会委員長が、隆島研吾氏から今川祐子氏(済生会横浜市東部病院)に交代の報告があった。
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。合わせて、下田栄次氏(あべ整形外科)の副委員長就任が説明された。
- (7) 佐藤事務局長より、ニュース編集部部长が、谷 浩明氏の転任により渡邊観世子氏(国際医療福祉大学)に交代の報告があった。
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。
- (8) 内田理事より(公社)日本理学療法士協会「協会主催研修会 運営業務のお願い」について説明があり、10月以降開催の委託研修会を受託したいとの提案があった。
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。
- (9) 大槻理事より、本会ホームページ内「小児リハビリ案内」に神奈川県小児保健協会ホームページのリンクについて提案されたが、神奈川県小児保健協会の説明が不十分のため審議されなかった。
神奈川県小児保健協会より本会ホームページへリンクする事の申し出の件も説明された。
神奈川県小児保健協会について、詳細な情報を説明し再度審議する事となった。
- (10) 障害者スポーツ支援係長が、辻 融枝氏から駒場佳世子氏(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター)に交代の報告があった。
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。
- (11) 佐藤事務局長より、安藤監事が監事終了となるため感謝と共に感謝状について説明があり、第36回定時総会時に贈呈する事が提案された。
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

X. 報告事項

1 会長職務執行状況報告

秋田会長より、前回理事会から昨日までの会長職務の執

- 行状況が報告された。
- 2 事務局業務執行状況報告
前回理事会から昨日までの事務局の執行状況が報告された。
- (1) 発行文書・收受文書の管理について
- (2) 2015年(平成27年)度神奈川県理学療法士会会員推薦について
ア 新たに作成された2015年(平成27年)度神奈川県理学療法士会会員推薦について
表題は「2015年(平成27年)度神奈川県理学療法士会会員推薦一覧」とする事になった。
- (3) 総務部より事業執行報告がされた。
ア 平成27年度新人オリエンテーション開催報告
平成27年4月19日(日)関内ホール(大ホール)にて、参加者368名
イ 各表彰について
(ア) 平成27年6月6日(土)厚生労働大臣表彰式 ホテルオークラ東京
受賞者 井上 保氏、隆島研吾氏、秋田 裕氏、神内擴行氏、長澤 弘氏
(イ) 平成27年6月13日(土)平成26年度第33回協会賞授賞式 ベルサール半蔵門
受賞者 萩原利昌氏、大槻かおる氏
(ウ) 平成26年10月31日(金)平成26年度神奈川県公衆衛生協会表彰
受賞者 澤田明彦氏
(エ) 平成26年11月17日(月)平成26年度神奈川県保健衛生表彰平塚保健事務所長表彰
受賞者 沼田浩吉氏
- (4) 広報部より、執行状況が報告された。
ア 広報物品制作進捗状況
イ 広報物品管理進捗状況
ウ メディアリリースの進捗状況
理学療法フェスタに関するイベントカレンダー・チラシを神奈川県記者クラブに送付準備中
- (5) ウェブサイト管理部より執行状況が報告された。
ア 役員改選メンバーリスト変更対応
(ア) 平成27年6月18日(木)夕方 新旧役員の変更作業
イ HP閲覧件数報告
- (6) ライフサポート部より執行状況が報告された。
ア 復職支援実務研修進捗状況
平成27年4月21日(火)、23日(木)、24日(金)鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院にて1名研修終了
- (7) 災害対策委員会より執行状況が報告された。
ア 平成27年5月16日(土)本会事務所にて、拡大災害対策委員会開催
出席者11ブロック代表と委員
- 3 学術局業務執行状況報告
前回理事会から昨日までの学術局の執行状況が報告された。
- (1) 学術大会部より執行状況が報告された。
ア 第32回神奈川県理学療法士学会事業報告
平成27年3月22日(日)パシフィコ横浜にて開催
テーマ「社会貢献—県民に選ばれる理学療法士になるには—」
参加者 774名(会員691名、会員外49名、学生



- 13名、一般21名)
- イ 第33回神奈川県理学療法士学会事業進捗状況
第33回神奈川県理学療法士学会松本学会長より、進捗状況の報告があった。
平成28年3月13日(日)パシフィコ横浜
テーマ「“症例報告”～1人の患者さん・利用者さんに対してじっくり考えよう～」
- (2) 研究支援部より進捗状況が報告された。
ア 平成27年3月22日(日)パシフィコ横浜 研究支援部主催講演開催報告
参加者 当日聴講を含め150名
事前登録者の内 来場無し44名 当日キャンセル率40.4%
- (3) 学術活動支援部より進捗状況が報告された。
ア 平成27年度学術サークル助成の公募を開始、5月中に締切り助成対象サークルを決定
- 4 職能局業務執行状況報告
前回理事会から昨日までの職能局の執行状況が報告された。
(1) 平成27年4月27日(月) 本会事務所にて第1回職能局会議開催 出席者10名
(2) 介護保険部より進捗状況が報告された。
部員の追加 内 啓氏(介護老人保健施設さつきの里あつぎ)
(3) 環境支援部より進捗状況が報告された。
ア スキルアップ研修会基礎編開催
平成27年8月8日(土)、9月6日(日)ウィリング横浜にて6月15日(月)募集開始
- 5 地域包括ケアシステム推進委員会業務執行状況報告
前回理事会から昨日までの執行状況が報告された。
(1) 27年度からの横浜市事業「地域リハビリテーション活動支援事業」について
ア モデル事業として2区にて展開予定 決まり次第、本会が窓口で対応。
イ 次年度は、18区での事業展開予定
- 6 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会執行状況報告
前回理事会から昨日までの執行状況が報告された。
(1) 平成27年4月17日(金)鎌倉リハビリテーション聖レジア病院にて準備委員会開催
- 7 他団体への参加報告
前回理事会から昨日までの執行状況が報告された。
(1) 医療専門職連合会
ア 会報の発行は年1回、今年度は8月20日(木)予定
イ 原稿執筆者の募集「各団体の人材確保の取り組みについて」
ウ 本会会員の増加に伴い、本会からの代議員1名増が可能となる。
(2) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会
ア 平成26年度収支報告
イ 神奈川県より、専門部会の部員推薦依頼
(3) 神奈川県リハビリテーション研究会
- 8 その他
(1) 秋田会長より、会長退任の挨拶
(2) 安藤監事より、監事退任の挨拶
(3) 岡本理事より、理事退任の挨拶

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 2015年度第2回理事会報告

I. 日 時：2015年6月14日(日) 10:30～10:40

II. 場 所：横浜リハビリテーション専門学校 8階講堂

III. 理事定数：15名

出席理事：林 克郎、隆島研吾、炭 孝昭、佐藤史子、相川浩一、大槻かおる、惣田 洋、小山理恵子、坪内敬典、内田賢一、渡邊裕之、山崎哲司、久保雅昭、久保木あずみ、相馬光一

出席監事：井上 保、君嶋武司、秋田 裕

*第36回定時総会において任期満了に伴う役員改選が決議され、定款31条および本会理事会運用規定第5条3項に基づき、新理事及び新監事全員の同意のもと第2回理事会を開催することが確認された。

IV. 議長選任

議長は、出席理事より互選にて林 克郎理事が選出された。

V. 議事内容

(1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会代表理事選出について
第36回定時総会第2号議案「任期満了に伴う役員選出」が決議され、林克郎氏が代表理事に就任することが承認された。

(2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会業務執行理事担当業務について

14名の業務執行理事の担当業務は当面以下のとおりとすることとなった。

副会長	隆島 研吾
副会長	炭 孝昭
副会長	佐藤 史子
常任理事・事務局長	相川 浩一
常任理事・学術局長	小山 理恵子
常任理事・社会局長	惣田 洋
常任理事・職能局長	大槻かおる
事務局担当業務執行理事	坪内 敬典
同	相馬 光一
学術局担当業務執行理事	内田 賢一
同	渡邊 裕之
同	山崎 哲司
社会局担当業務執行理事	久保 雅昭
職能局担当業務執行理事	久保木 あずみ
監 事	君嶋 武司
同	井上 保
同	秋田 裕



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願います。

紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の

申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

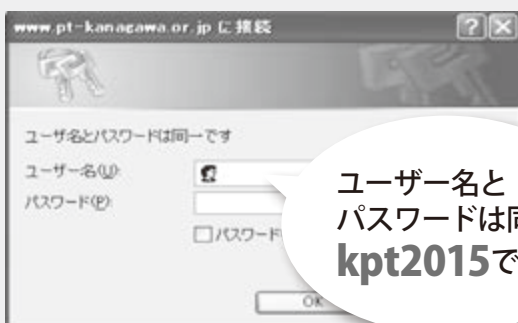
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

アクセス認証が変更です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

スポーツ現場 の 独り言 (6)

今年も、あっという間に夏が駆け抜けていきました。

私の夏はと言いますと、世界選手権がロシアで開催されましたので2週間ほどロシアに滞在いたしました。なかなか観光でロシアに行く方も少ないのではないかと思いますし、仕事でも理学療法士にはあまり縁がない地域ですね。

さて、今回は3名の選手が金メダルを獲得しましたが、その内1名が事前の高地合宿中に足部を痛め、選手権前の検査で三角骨障害との診断が下されました。実際、試合の際には痛みもなく動きも問題なかったわけですが、結果として前半の参加種目では成績が振るわず、「ひょっとして足首の怪我のせいかな？」という声がチーム内でちょこちょここと出始めていました。

皆さんご存じのように、三角骨障害は慢性ストレスが原因と考えられます。このケースでは、水泳やバレエで散見される「底屈後方インピンジメント」という状態で三角骨が形成されたと考えられました。逆に言えば、最大底屈時の距骨へのストレスを足根骨全体で吸収することが可能であれば痛みなくキックを打つことは可能です。今回も帰国後にモビライゼーションを施した後は痛みなく数週間練習できている現状でしたので、私の立場からは前半の不調に対して「現状、足の問題というより全身のコンディションと技術的な問題が大きい」という見解を出しておりました。

このように、有望選手の試合結果が望ましくない状況になりますと色々な意見が飛び交うもので、「疲労が原因だ」だの、「手と足のタイミングが合っていない」だの、スタッフの皆さん良かれと思って様々な声が飛び交います。

このときに重要なのは、「良いときの状態」と「現在の状態」の差を冷静に見極めることです。今回の場合、確かに良いときの泳ぎに比べ、動きにキレがなく又メットした泳ぎ方になっていました。これが、「疲労」のせいなのか「タイミング」のせいなのかを冷静に判断しなければいけないわけです。

今回は実際にどのように対応したかと言いますと、まず泳姿勢を科学スタッフと分析、足が沈んでいたのでキックが効いていない（パワーが発揮できていない）と判断しました。疲労でもタイミングでもなく、下肢の筋がしっかり働いていないと考えたわけです。これをコーチと相談し、水中ドリルでキック動作に負荷を与え刺激を入れようと試みましたがなかなか反応が良くありません。ということで、本人・コーチと話し合い、陸上のトレーニングでガツンと下肢筋の筋収縮を引き出し、それでレースに臨もうということになりました。

結果としては泳ぎの修正ができ、最終日に2大会連続の金メダルを獲得することになりました。リオ五輪内定ということになりましたが、来年の本番はもう少し余裕をもって臨みたいところです。

独立行政法人日本スポーツ振興センター

マルチサポート事業部 小泉圭介



編集後記

社会人となって働くようになってから、体調管理に以前にもまして気を遣うようになりました。そのために特に食べ物には大切だと思っています。食べ物にもいろいろありますが、時期や場所が変わっても安心して食べられる、いわゆる「定番」の食べ物は捨てがたいと思っています。そうした食べ物の中で、ここでは味噌を挙げたいと思います。味噌は昔から活力の基と考えられていたようで、例えば戦国時代には焼き味噌や芋がら縄（お湯に入ると即席の味噌汁になる）として味噌が携帯されることもあったようです。このように、味噌は古くから日本人の食生活の中で重要な役割を果たしてきました。

味噌が持っている前述したような定番の食材としての安心感、活力の基、私たちの生活に広く普及しているという各要素に関して、これらは理学療法士として求められる要素にもつながるかもしれません。必要に応じて安心して理学療法を受けることができ、それを行うことで日々の生活の活力の基となり、地域に広く普及した存在。味噌のような味わいがある、そんな理学療法士は素晴らしいと思います。（金子）

次号の原稿締め切りは**12月6日**です。

国際医療福祉大学小田原保健医療学部（ニュース編集部宛）

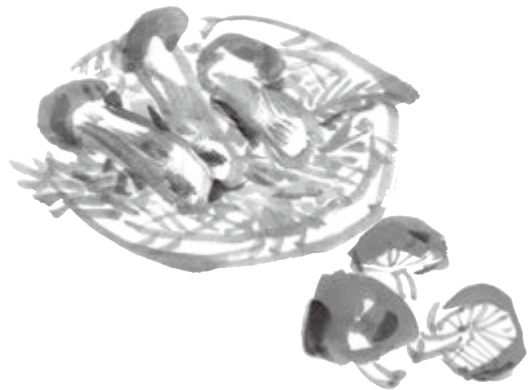
news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

◆ ニュース編集部員 ◆

担当理事：坪内 敬典（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）
 部長：渡邊観世子（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）
 部員：今井 祐子（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）
 大村 優慈（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）
 金子 達也（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）



Gift

オリジナルカーシート
 （150センチ程度まで）

日本ウイール・チェア株式会社
 〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
 TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では
 福祉用具レンタル・販売
 も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS

<http://nwc-kurumaisu.com/>